幻覚に苦しみ、自ら命を絶った少年がいました。

福岡県警察本部 生活安全部 少年課
飯塚少年サポートセンター 少年育成指導官
大月 祥子 係長

福岡県警察本部 生活安全部 少年課
飯塚少年サポートセンター 少年育成指導官
古賀 康則 警部補

知られていない恐怖

人を廃人にまで追い込むシンナー、その気化したものを吸えば、肺から容易に血液中に入って全身をまわります。シンナーは脳を溶かすように委縮させ、やがて致命的な障害をもたらしていきます。しかも、身体や精神へのダメージは、ほとんど元に戻ることがありません。

「小学生のときから知識としてシンナーの怖さを教え、まず手を出さないことを意識させることが重要です」と指摘する大月祥子少年育成指導官。現在、飯塚少年サポートセンターでは、筑豊地区と京築地区を対象に、少年相談や立ち直り支援、街頭補導や広報啓発活動を展開し、シンナー等の薬物乱用防止を重点に活動しています。

近年、親が子どもの問題行動に気づかない、もしくは、気づいていても「そのうち直るだろう」と楽観視して見過ごすケースが後を絶たないといいます。やがて手遅れになり、手が付けられなくなってから親が抱え込み、どうしようもできない状態で発覚する事例が少なくありません。「一度壊れた脳は元には戻らない」というシンナーの毒性と「やめられない」という強い依存性を知らないがゆえに、取り返しのつかない事態へと発展していきます。依然としてシンナーの需要と供給の構図が崩れていない地域では、まず、シンナー乱用がもたらす悪性への認識を高める必要があります。

「人格をも壊すシンナーの害をもっと知ってほしい」と、無知による乱用に警鐘を鳴らす同センターの古賀康則警部補は「シンナーに手を出す少年の背景には、何らかの家庭問題等があり『さびしい』『満たされない』という心の問題を抱えています。夜間に保護者がいない家は『たまり場』になりやすく、そこで携帯電話を通じて同じような境遇の子と瞬く間につながっていきます。乱用は少年だけで解決できる問題ではなく、その背景も含め、親の意識や環境を変えなければなりません」と強く呼びかけます。

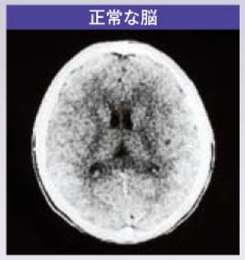
手遅れになる前に

「かつて、シンナーの幻覚が原因で命を絶った子がいました。周囲はこのような結末を迎えるシンナーの恐ろしさを知らなかったのです。シンナーにいったん手を出してしまえば、本人の意志でやめることは非常に困難で、体はむしばまれ、ボロボロになってしまいます。わたしたちは一人でもそんな子を出さないよう活動しています」と大月祥子少年育成指導官。シンナーの犠牲を防ぐためには、手遅れになる前に、家庭で一番近くにいる親が子どものSOSに気づき、行動しなければなりません。そして、日ごろから親子が向き合い、薬物乱用についての正しい知識を確認し合える環境づくりが求められます。

広報ふくち平成19年8月号で取り上げた赤池中での薬物乱用防止講演会。シンナー乱用で18歳の時に突然失明した佐賀県立盲学校教諭・牟田征二さんの体験談を掲載。「二度と自分のような人を出したくない」という悲痛な肉声からシンナーの恐怖を伝えたが、残念ながら町内での乱用は撲滅できていない。

飯塚少年サポートセンター
飯塚市飯塚14番67号イイヅカコミュニティセンター2階
☎0948(21)3751

忘れないで
人体機能の中枢を破壊するシンナー
壊れた身体は元に戻らないことを

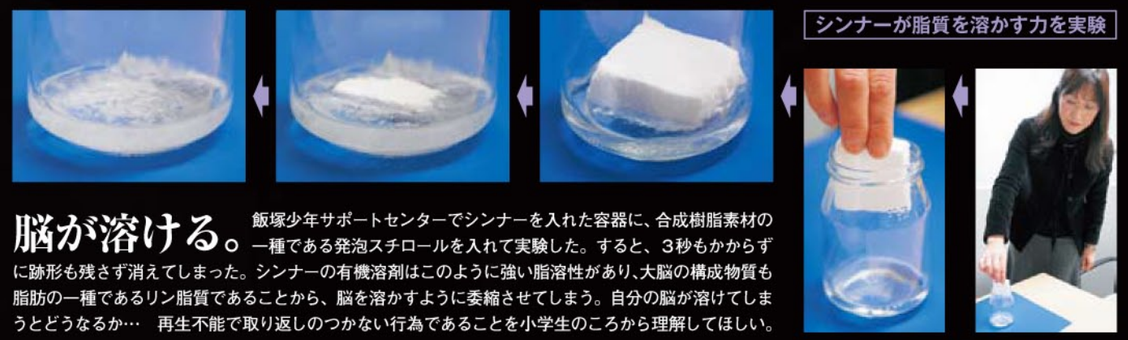


正常な脳

シンナー乱用で委縮した脳

- 脳 ＞ 神経細胞が死滅します。溶けたように脳が萎縮し、意識障害、幻覚・妄想、痴呆などを引き起こします。
- 目 ＞ 視神経が侵され、眼底出血が起こり視力が低下。やがて失明します。
- 歯 ＞ 溶かされてぼろぼろになります。
- 心臓 ＞ 心不全や不整脈が起きます。突然死する場合もあります。
- 気管支・肺 ＞ 粘膜が侵され気管支炎を生じます。ちょっとした運動で呼吸困難になります。
- 胃・肝臓 ＞ 細胞の一部が死滅します。また胃粘膜が侵され出血します。体が黄色くなりむくみます。
- 腎臓 ＞ タンパク尿が出ます。腎不全になり、尿毒症などの症状を引き起こします。
- 生殖器 ＞ 委縮し、やがて子どもができなくなります。

シンナーが脂質を溶かす力を実験



脳が溶ける。 飯塚少年サポートセンターでシンナーを入れた容器に、合成樹脂素材の一種である発泡スチロールを入れて実験した。すると、3秒もかからずに跡形も残さず消えてしまった。シンナーの有機溶剤はこのように強い脂溶性があり、大脳の構成物質も脂肪の一種であるリン脂質であることから、脳を溶かすように委縮させてしまう。自分の脳が溶けてしまうとどうなるか… 再生不能で取り返しのつかない行為であることを小学生のころから理解してほしい。